

## イワタルリ

### 略歴

1951年 東京に生まれる  
1977年 東京藝術大学大学院鍛金科卒業

### 展覧会歴

1970年 個展、むね工芸（東京）  
1983年、1984年、1995年、1998年  
個展、日本橋高島屋（東京）  
1983年、1984年  
個展、銀座和光（東京）  
1985年 「日本の新しいガラス」展 バーデン州立美術館（西ドイツ）  
1985年～1987年  
個展、ギャラリーK（東京）  
1987年～1994年  
個展、SHOP&GALLERY銀鮎（東京）  
1987年、1994年、1996年  
個展、ギャラリーギブリ（東京）  
1988年 「第3回 国際ガラスシンボジウム」招待制作・立体作品を収蔵（チェコスロヴァキア）  
1991年 「国際現代ガラス」展招待出品 エスパス・デュシャン=ヴィヨン・センター（フランス）  
1992年 「日本現代工芸」展 フランクフルト工芸美術館（ドイツ）  
1993年 「確かに手応えの追求—金属とガラスの造形」 神奈川県立県民ホールギャラリー（神奈川）  
1993年 「日本の新しいガラス」展 バーデン州立美術館（西ドイツ）  
1994年 「第24回 ガラスアートソサエティ一年次大会」招待参加、“ガラスと芸術”講演（U.S.A.）  
1994年 「世界現代ガラス展 World Glass Now'94」 北海道立近代美術館、北海道他巡回  
1995年 「日本のスタジオ・クラフト—伝統と前衛」展 ヴィクトリア&アルバート美術館（イギリス）  
1996年 個展、「Iwata Rury」 資生堂ギャラリー（東京）  
1999年 「現代日本の工芸『今』100選展」（パリ・東京・広島・福岡・福島）  
1999年 個展、日本橋三越（東京）  
2000年 「うつわをみる—暮らしに息づく工芸ー」 東京国立近代美術館（東京）  
2001年～2005年



### 主な作品設置

東京サレジオ学園（東京）'88  
能登島ガラス美術館（石川）'91  
コーニング社（ニューヨーク・米国）'94  
ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター（香川）'95  
さいたま新都心（埼玉）'00  
凸版印刷株式会社 TOPPAN HALL（東京）'00  
資生堂 アートハウス（静岡）'02  
明治安田生命保険相互会社（東京）'04  
東京ミッドタウン（東京）'06  
TOTO 山と星空の由布院（大分）'16

### 主な作品収蔵

ノヴィー・ボル（チェコ共和国）  
北海道立近代美術館（北海道）  
黄金崎クリスタルパークガラスミュージアム（静岡）  
サントリー美術館（東京）  
資生堂 アートハウス（静岡）

### ホームページ

<https://www.iwataruri.com>



〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1  
TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401  
開館時間 9:00～17:00（入場は16:30まで）  
休館日 月曜日（祝日・休日、第一月曜日を除く）、  
祝日・休日で開館した月曜日の翌平日、  
年末年始、展示替え期間  
※施設・設備保守点検のため臨時休館する場合があります。  
<https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>



### 受賞歴

1989年 第14回吉田五十八賞受賞「建築関連美術部門」 東京サレジオ学園（東京）  
1990年 「90現代ガラスの造型展」優秀賞受賞 彫刻の森美術館（神奈川）  
1991年 能登島ガラス・アート・ナウ指名コンペ 審査員奨励賞受賞、能登島ガラス美術館（石川）  
1998年 「サントリー美術館大賞展'98—挑むかたち」大賞受賞 サントリー美術館（東京）  
2007年 コーニングガラス美術館発行のNew Glass Revies 28において、審査員選抜作品に選ばれる

## イワタルリ GLASS × 鉄 × 茶室

2022.4.2 [Sat] — 2023.3.26 [Sun]



イワタルリ GLASS × 鉄 × 茶室

2022.4.2 [Sat] — 2023.3.26 [Sun]

ちいさなお茶室は、人と人がお茶を介して一つになる場だと思います。

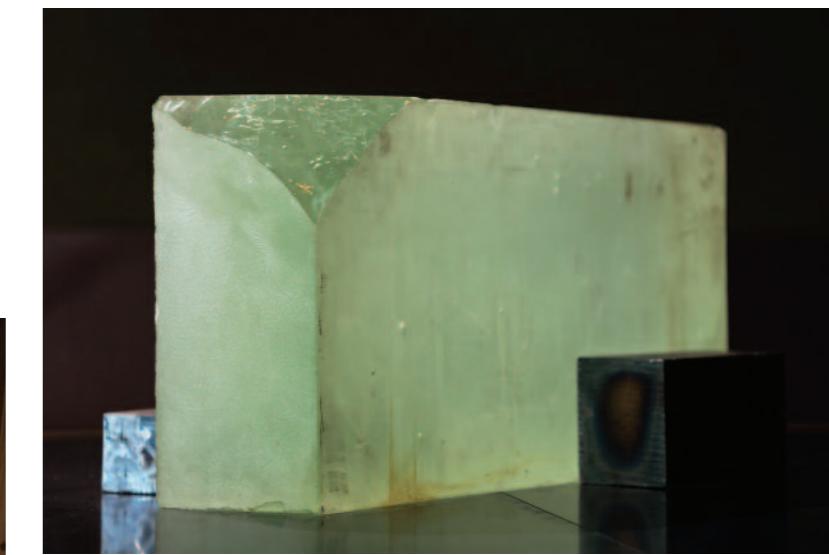
ガラスは、その一つの現れに思います。

ガラスと鉄と木と光で人と人が一つになって、静かな、静寂な空間になっていると思います。

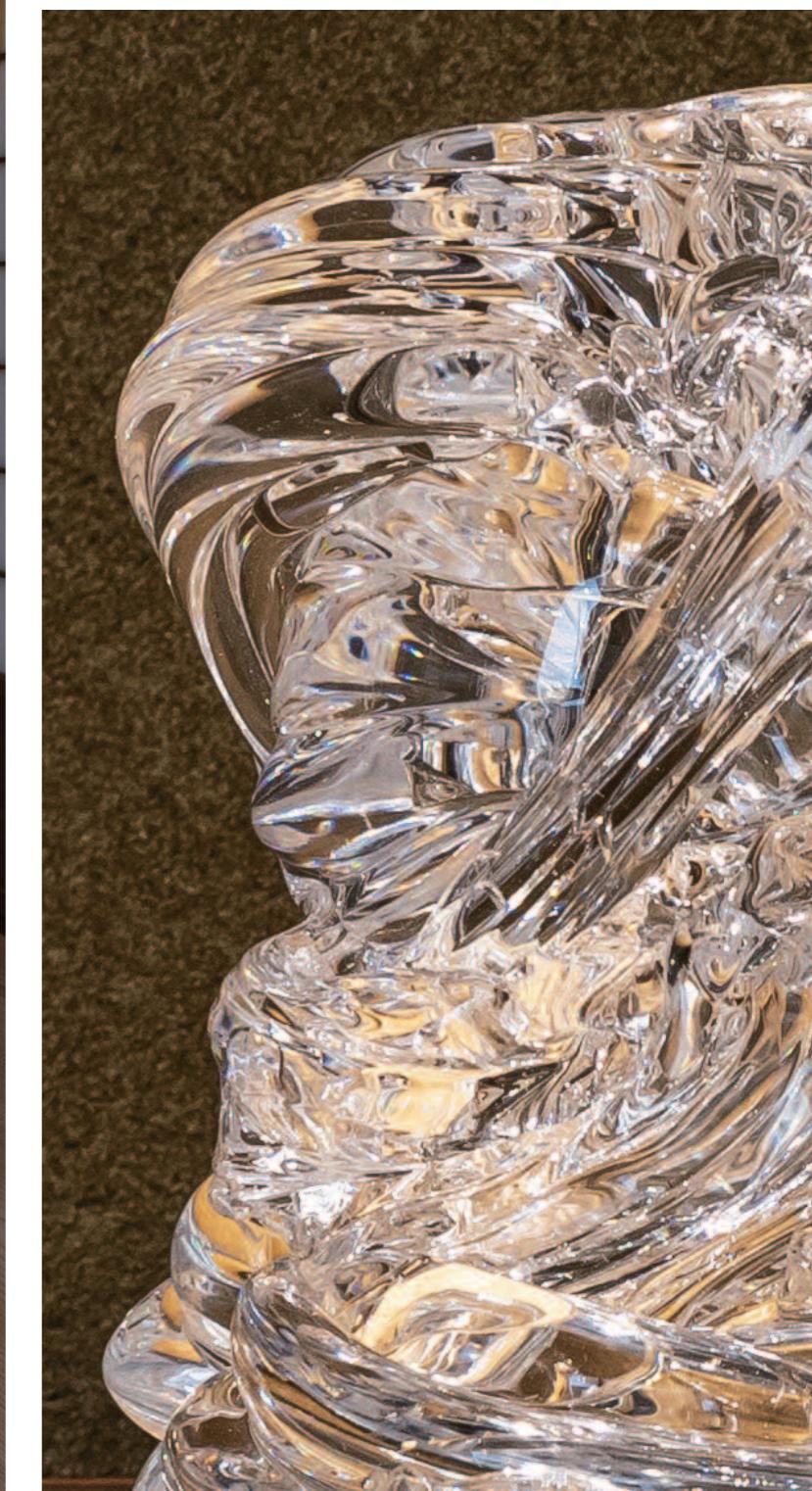
この小さな空間が地球であったなら、世界に戦争はないものだと思います。

いろいろな人種が差別なく侵略がなく、心が一つになれば良いと心から思います。

イワタルリ



立体  $122.4 \times 122.3 \times 31.0\text{ cm}$  ガラス、鉄 2022年



花器  $18.5 \times 17.5 \times 24.0\text{ cm}$  ガラス 2021年